


事業概要【ネイチャーポジティブに資する世界遺産道路空間整備事業】

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	200,000千円 (13,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅危惧種をはじめとした野生生物のロードキルを防止し、生物にふさわしい環境となる社会資本整備を行うことで、沖縄特有の貴重な生物を保護し、沖縄島北部等の世界自然遺産としての付加価値向上を図る。 野生動物の交通事故発生状況をモニタリングし要因を分析、適切な保安全管理にむけた対策を行うことで、観光客をはじめとした道路利用者による自然環境への負荷を低減する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】 ※13,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野生生物の保護に関する広報活動 ・保護活動に関する説明会 ・保護柵の補修、除草を組み合わせたモニターツアー等の実施 ・野生動物の確認等のためのモニタリングの実施 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路施設の整備によるロードキル防止対策 ・路面標示、防草対策等による道路視認性の確保 ・片側勾配側溝による小動物の路上侵入抑制 ○注意喚起による啓発活動 ・喚起標識、路面標示の整備 					 <p>路面表示 とび出し注意 北部国道事務所R5.3.8 記者発表資料より</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>既存組織の「やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議」等により検証を行い、見直しを行う。同会議等で関係機関（環境省及び沖縄総合事務局）、NPO法人や地元住民に対して中間報告会を開催し、調査結果の概要、分析結果、今後の課題などを報告する。参加者からの意見や質問を聞き取り、調査計画に反映させる。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①沖縄県における観光収入（2,180億円） ②野生生物【ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ】の事故件数の減少させる。（-3匹）</p>

事業概要【「共同売店」を中心とした地域づくり事業】

申請者	沖縄県				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	70,500千円 (19,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 離島・過疎地域における集落拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成することで、地域課題の解決に向けた官民連携による取組み体制を構築するとともに、住民満足度の高い住みよい地域づくりを推進する。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 地域集落の拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成し、地域住民を中心とした持続的な課題解決のための取組みを進める。</p> <p>【ソフト事業経費】 モデル地域を選定し、「共同売店」を中心とした地域の将来ビジョンの策定及び将来ビジョン実現に必要となる「共同売店」へのITツールの導入や官民連携によるリモート生活相談窓口の体制整備等に係る経費を補助する。 ・将来ビジョンの策定及び体制整備（補助金）19,000千円</p>				 <p>※沖縄コンベンションビューローHPより抜粋</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域づくりの学識者の助言を受け将来ビジョン、持続的な活動体制構築に取り組みとともに、共同売店の経営力強化のため、情報通信業者等の技術的助言を受ける。自治会と連携し、実践モデル段階での住民意見を吸い上げ、将来ビジョンの見直しにフォードバックする。将来ビジョン策定及び持続的な活動体制の構築支援、人材の確保等に係る助言とともに、市町村においては自走化へ向けた官民連携体制を構築する。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①支援地区の住民流出者数（0人） ②将来ビジョンを策定した地域（+4地域） ③地域運営組織を形成した地域（+4地域） ④シンポジウムの参加者数（+150人） ⑤地域運営組織の活動に対する住民満足度（+80%）